

本稿は、バンク・オブ・アメリカが2015年10月26日に発表したプレスリリース“Bank of America Announces 2015 Art Conservation Project Grant Recipients”の日本語訳です。正確な内容については、原文をご参照ください。本稿と原文との間で齟齬がある場合には、原文が優先します。なお、英文プレスリリースは、バンク・オブ・アメリカIRサイト、<http://newsroom.bankofamerica.com>よりご覧いただけます。

2015年10月27日

報道関係者お問い合わせ先：  
メリルリンチ日本証券 広報部  
03-6225-7550

## バンク・オブ・アメリカ、2015年文化財保護プロジェクトの助成金提供作品を発表 7カ国の貴重な文化財を保護するグローバルプログラム

[ノース・カロライナ州シャーロット、10月26日] — バンク・オブ・アメリカは本日、同社が世界中で展開している文化財保護プロジェクトにより支援する今年度の助成作品を発表しました。この文化財保護プロジェクトでは、文化的に重要な世界中の芸術作品の保存・修復を支援しています。2015年は、7カ国13件のプロジェクトに助成金が提供されます。

2015年の助成金提供作品：

- フィンセント・ファン・ゴッホ、「Enclosed Field with Ploughman」および「Houses at Auvers」、ボストン美術館
- ヘンリエッタ・ジョンストン、肖像画2点、ギブス美術館、サウスカロライナ州チャールストン
- ハリエット・ビーチャー・ストウ、花の静物画2点、およびハリエット・ビーチャー・ストウの夫および父の肖像画、ハリエット・ビーチャー・ストウ・センター、コネティカット州ハートフォード
- オスマン・ハムディ・ベイ、絵画6点、サキブ・サバンジュ美術館、イスタンブール
- 阿弥陀仏像、大英博物館、ロンドン
- エミリオ・ガルシア・カエロ、ラモン・アルバ・デ・ラ・カナル、ジャン・シャルロ、フェルナンド・リアル、ホセ・クレメンテ・オロスコ、フェルミン・レヴェルタス、ダビッド・アルファロ・シケイロス、壁画41点、サンイルデフォンソ学院、メキシコシティー
- エドゥアール・マネ、「Woman in Evening Dress」、ソロモン・R・グッゲンハイム美術館、ニューヨーク
- スチュアート・デイヴィス、「The Mellow Pad」、ブルックリン美術館、ニューヨーク
- アメリカインディアン著名アーティストの彫刻8点、ハード博物館、アリゾナ州フェニックス
- ドイツの表現主義作家マックス・ベックマン、ペーター・アウグスト・ベックステイゲル、オットー・ディクス、コンラッド・フェリックスミュラー、エーリッヒ・ヘッケル、エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー、エミール・ノルデ、紙の作品60点、バージニア美術館、バージニア州リッチモンド
- 絵画4点および最近発見されたフレスコ画、イビラプエラ公園内オカ美術館、サンパウロ、ブラジル
- 上村松園、「序の舞」、東京藝術大学大学美術館、日本
- 中世の漆喰パネル、イスラム美術館、ドーハ、カタール

2015年のプロジェクトおよび対象作品の画像一覧については、文化財保護プロジェクトのサイトをご覧ください。

バンク・オブ・アメリカのグローバルアーツ&カルチャー責任者のリナ・デ・シストは、「芸術には地域社会を結びつけ、地域経済を活性化する力があります。しかし、それが効果を発揮するには、鑑賞され共有される必要があります。」と述べています。「当社はこうした芸術作品の重要性を理解しており、将来にわたって評価されるに値する文化遺産の保護に貢献できることを誇りに思っています。」

2015年の助成金提供作品を含め、バンク・オブ・アメリカの文化財保護プロジェクトでは28カ国の85件の保存・修復プロジェクトに助成金を提供しています。当プロジェクトは2010年に欧州・中東・アフリカで始まり、2012年には南北アメリカ、アジア、オーストラリアに対象範囲を拡大しました。

これまでの支援作品には、ニューヨーク近代美術館所蔵のアンリ・マティスの「The Swimming Pool」、ナショナル・ポートレート・ギャラリー（英国ロンドン）所蔵のチューダー朝の絵画4点、東京国立博物館所蔵の渡辺華山の絵画3点、プラハ国立美術館所蔵のレンブラントの「Scholar in His Study」などがあります。

文化財保護プロジェクトは、芸術を支援するバンク・オブ・アメリカの世界的取り組みの延長線上に位置しており、社会的・経済的価値を地域社会にもたらすための取り組みの一環です。バンク・オブ・アメリカが実施している芸術支援は多岐にわたっており、自社所有のアート・コレクションの美術館への無償貸与、後援、芸術・文化機関の教育プロジェクトへの助成金提供、文化遺産の保護などが挙げられます。

#### バンク・オブ・アメリカのCSR（企業の社会的責任）

バンク・オブ・アメリカでは、人々のファイナンシャル・ライフをよりよいものにするという中核的目標を達成するため、CSR活動を重視しています。責任ある事業拡大という姿勢は、当社の方針、慣習、サービス、商品、ガバナンス、社員の福利厚生など、当社の企業活動のあらゆる面に反映されています。この取り組みの中で重要なのは、地域社会のニーズに応える非営利団体などを通じて、様々なセクターにわたって強いパートナーシップを築くことにあり、当社の集团的ネットワークや専門知識を活用して大きな効果を上げています。バンク・オブ・アメリカは、社員のボランティア活動、ダイバーシティとインクルージョンの支援、環境および社会的責任を誇りに思っています。当社は全社を挙げて、銀行および投資業務をよりシンプルにさせ、お金の使い方を改善させ、世界中で地域社会に貢献すべく努めております。詳細については、[www.bankofamerica.com/about](http://www.bankofamerica.com/about)、ツイッターの@BofA\_News and @BofA\_Communityをご覧ください。

バンク・オブ・アメリカのさらなるニュースについては、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム (<http://newsroom.bankofamerica.com>) をご覧ください。

[www.bankofamerica.com](http://www.bankofamerica.com)